



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7 / 19

今回、この授業を受講して、自分が持っていた知識をとても大きく  
 上回る。多くの貴重なお話を聞くことができて本当に良かったです。  
 戦争に関する漫画や小説は少し読んできましたが、  
 今回の先生のお話は感情よりも目に見える現実の怖さや  
 リアルが「ま、ま」と伝わってまたの「か」印象に残りました。  
 具体的な数値やデータを多く取り入れて下さって  
 いて、事実がよりはっきりと感じられました。また、義三さん  
 の経験した、見て聞いて、感じたものがひしひしと伝わって  
 きて、光景が目に浮かんでくるのは辛いものでしたが、自分の  
 中での新しい経験となりました。原爆の恐ろしさを私たちは  
 が「ま、ま」と体感でき、知ることでできる「ルール」はまだ  
 ありませんが、お話を聞いただけでもこんなに伝わって  
 くるのはとても凄いいことだと私は感じました。テレビの映像  
 とテロップや、絵、文だけでは伝わってこない、  
 人ごたいの情報を知ることができ、本当に良かったです。  
 ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今までニュースとかで原爆について見て、「戦争はしてはいけない」とか「平和はよは幸せ」ということは十分思っているつもりでした。でも自分は結局出来事の本質を知らなくて少好から美化されている情報を見ていただけというのを今日の講座で実感することができました。今日の講座も本当に原爆を見た方や被爆者の方々が体験したもののまじり何倍も何百倍も恐ろしいという講座だ。たと思いますが、それでも目も耳も閉じてしまいたくなるほどに怖かったです。とても怖か、だからこの講座も戦争の話聞いたときよりも、たかさんの思いが込められてくる程に貴重なお話でした。改めて100分間以上もの長い間私達にお話をしていたが本当にありがとうございました。

ま、その先の戦争に関するお話を聞く機会があると思いますが、私はやはり自分事としてはとらえられたいという気持ちがあります。そうだとすると、たまたまこの先の中で戦争が身近で自分事とならなければ自分から逃げることは何でもしてきたいと強く思いました。特にお話を聞いて



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

話を聞いて、その画像を見ただけでリアルに見たわけじゃないけど、想像を絶する悲惨さで、恐怖がこみ上げてくると同時に気分が悪くなってしまいました。そのためあまり直接的なことは書けなそうです。ごめんなさい。

まず、なにが原爆について話したくない人が多く居るなか、血縁者である池田先生の話を聞いて、とても良い機会だったし、色々なことを知り、学びました。本当にありがとうございます。

私はこれまで原爆について全然知りませんでした。授業で聞いたのと、原爆に関するアニメ(映画?)を見たこと、クローズアップ現代を見たことくらいしかありませんでした。それだけでも多少気分が悪くなってしまったくらいです。今回はそれと比べものになりませんでした。怖い、あまりもう話を聞きたくないなと思ってしまうこともありました。でも、私は原爆について知っておかなきゃいけないなと思いました。

今回授業を受けて、原爆に対する思いや気持ちが大きく変わりました。そして、もっと知ろうと思いました。夏休み中原爆の特番をやると思うので見ようと思います。コロナ禍の今は無理ですが、近いうちに原爆ドームも行きたいです。

今日は本当に授業をしてくれてありがとうございます。そして、私の考えを変えてくださって、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、初めて原爆の話を聞いて原爆の生々しさを知って、本当に原爆は怖いなと思いました、本当に原爆は恐ろしくて人の命を一瞬で奪ってしまうという事をはたで感じて、戦争は本当に恐ろしくておこにはいけないものな人だなと思いました。

日記でも、一つ一つの言葉が戦争や原爆の恐ろしさが生々しく伝わってきて、なんてこんなことが起きてしまったのかとすごくかない気持ちになりました。

最後の池田義三さんの話で、被爆者を助けられなかった義三さんの気持ちが苦しくてつらいものだったことが身にしみて感じました。今までは学校や本でしか原爆について知る機会がなかったけど、原爆を体験した人の話を聞いて、心から原爆は恐ろしいなと思いました。その為私もせいいっぱい生きていきたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は本当に怖いし、恐しいな、と思いました。私は、そのとき生まれていなかったし広島にもいなかったから実際に経験していないけれど、私の想像以上に、と恐ろしい出来事が事実としてあったのだと、と身を持って感じる事ができました。原爆が投下されたときの米軍の人の様子、また爆心地にいた人の様子や歴史や原爆投下に至るまでのお話を聞いて知ることができ、今まで知らなかったことを詳しく知ることができました。今まで起きてしまったことは、もう取り消すことはできないけれど、そのときの記憶や記録は、次の世代に伝わっていくことができるので、もう二度と人と人が争うなんてことをやめてほしい、絶対にすべきではないと知ること、伝えることが大事だと思いました。世の中が、少しずつ変わっていても、人と人が争い、関係のない人々も犠牲にするような世の中には絶対になんてほしくないし、だからこそ歴史を教えるべきなのだと思います。日本では、戦争はこの少し先では起きないとは思いますが、今までにあった事実をいっつも忘れず、いよく思い出しました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/19

私は、小学2年生の時に、原爆ドームに行ったことがあります。まだおさなくて、祖父等から原爆について少し聞いただけで、何の覚悟もなく、ただ両親に手を引かれてあの建物へ入ってゆきました。展示されている説明には漢字が難しい言葉が多く、私には読んでもよく分からなかった。ので、展示物や母の説明だけを見聞きしてすごしました。かけだけかのこっている写真などを見て、どこに行ったのかわからなくて不気味に思ったりしましたが、いくど2年生とはいえ、死の意味くらいは弁かっています。一番衝撃を受けたのは、被爆した方の人形でした。実体験者である父君にしてみれば、きれいなすきで生ぬるいものではあつたのでしょうか。当時の私にとっては十分すきるほどのショックを受けました。私の祖父は半年ほど前に90歳目前で逝きましたが、彼には3人の兄がいました。兄とは大きく年のはなれていた祖父は、戦争に兵士として出なかつたそうですが、2人の兄をなくしました。また小さい私に話すのはためらわれたのがあまり、そういう話はしなかつたのですか。晩年、私がもう小学6年生になったころでしょうか。当時の事をはっきりはっきりと話し、涙をながしていました。祖父の涙を見たのはそれが最初で最後でしたが、自分の幸せに改めて気づかされる。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com) 大事なきっかけと

なりました。

先生の貴重なお話も

大切な経験になりました。

長い間時間を使って話して

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで、学校や家で戦争について触れたことがあ  
たけど、あまり実感が湧かなかったものが、今日の特  
別授業で、原爆についての詳しい実態を知って、本当  
に原爆は怖いものなんだなということを感じま  
した。原爆先生は特別授業をして話をす  
ることが、本当に辛いことだと思います。原  
爆先生が辛い思いをして私たちに伝えてく  
れたことは、無駄にせず、自分の心の中で  
留めて、家族に話して、一緒に原爆について  
考えようと思いました。

原爆の温度が7000℃なのに対し、太陽の表面  
温度が6000℃ということにはとても驚きました。  
太陽よりも熱い原爆について義三さんが  
話してくれたビデオは、本当に胸がいっぱい  
になりました。被爆者の方を思うと本当にいたたま  
れない気持ちになります。これから、絶対に  
戦争をおこしてはならないなと強く思いました。  
私たちに原爆についてたくさんお話をしてくださった  
原爆先生に感謝の気持ちでいっぱいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

前半の話聞いて、義三さんが体験された事は、自分達の生活では、全く感じられない世界だけど、日本に起きた事実として、知ることができました。昭和20年、8月6日8時15分に起こったことは、言葉では表せないほどのすごいこと、怖いことだと分かりました。人間の「本当の姿」について聞いたような気がして、今ではありえない事だと思います。落ちたかげの姿や、原爆雲の色など、話を聞いただけでは、全く想像もつかないことがたくさんありました。でも、それだけ複雑な景色だったのだと思います。後半では、資料から分かる情事及び、今まで言葉でしか聞いたことが無かった事1の言説明があって、より深く、アメリカ側の気持ちや考え、戦争というものの意味が知れたと思います。とてもおどろいた、爆発の表面温度や、被害の大きさから、命や体の大切さを知ることができました。「7000℃の少年」を起こしてしまったことから、学ぶことがたくさんあったので、改めて、それについて考えたいと思います。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、率直に怖かったです。実際は原爆を体験した池田吉三さんの言葉だからこそ、実際には比べものにならないかもしれないけれどリアルに感じました。「皮膚がただれた」や「ズルッと皮膚がはがれ落ちた」など、想像するだけで目を背けたくなってしまふような状況の中で、兵隊として人のために動いておると思うと共に、二度目のこんなことを起こしてはならないと強く思いました。

二度目の長崎での原爆。いくつか候補があったというにも知りませんでした。京都は重要文化財があるなどの理由で除外されましたが、他の都市も同じで、文化財はたしかも知れないけれど、人は生活を送っているのだから、傷つけていい理由などはどこにもありません。今まで私は「原爆」という言葉を聞いたことがあってもよく知りませんでした。しかし今回の特別授業を通して、「原爆」についてより知ることができました。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆資料館に行、たことがあ、て、初めてそこで  
原爆について詳しく知り、恐怖と驚きで 放心するくらい  
でした。しかし、先生の話を聴き、あれよりも、比べものに  
ならな、いくらい怖か、たと知、て、とても驚き、恐ろしくなりました。  
「生きていて、温かい感触」や「人間の形」はあたり前だと  
思、ていたけれど、そのことによ、るこ、びを感、じるほど  
悲惨だ、たのだと知、て、そう変、えてし、ま、う原爆は怖いと  
思、いました。原爆は、人間をたくさん、一瞬で消して  
し、ま、て、生き残、ても、地獄のような苦しみを与える恐ろしい  
もので、絶対にあ、てはな、らないと思、いました。  
た、た一、発で、罪のない人を無差別に苦しめてし、ま、  
うので、いやな、いと思、いました。何かを思、うな、まもなく  
炭にな、てし、ま、たり、痛みや苦しみに耐、えな、か、ら命を  
落、としてし、ま、た人がいた、りする一、方、たまたまか、げに  
な、て、いたからな、だ、という理由で生き残、った人もいるような、  
そんな恐ろしい時代があ、て、平和な今が、ある、というこ、とを  
思、いながら、これからを過、こしていき、たいです。  
貴重なお話を、あ、れ、れと、り、こ、じ、て、い、ま、した。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

私は今日の話を聞いて、もちろん先生がお話しされていた内容も重要だと思う。しかし私はあの話よりも今日の池田先生の態度から多くのことが学んだ。今日池田先生は終始教壇から聞くときの姿勢を指摘していた。義三さんの体験談を聞くときは手には何も持たず、微動たずに座かに聞く。池田先生が説明をするときはしっかりとメモを取る前者に関してはまさに当時のことかのような臨場感をもて聞くためだ。後者に関しては事後談のようだが詳しく原爆について知ることができよう。しかし私たちがどなたの姿勢で聞くかが先生の父である義三さんが体験した恐怖や苦痛がはたかた実体験者ばかりに分らな、ということが今日池田先生が一番伝えたことだ。そのことこそ一番よく感じられたのが全てのお話が終わって私たちが代表して学級委員長がお礼を述べるときだ。あのシーンで決して学級委員長を薦む訳ではないが先生が良、真実を述べているように私は見えた。そもそも自分がお礼を言われていることを不思議に思っているようにも見えた。しかし先生がお礼の様子を見ていたときには何處もうたが、いた。

私はそんな池田先生の見返り(お礼)を求めずに当日の前の方に、とても熱情的に原爆の怖さを伝える姿に今日一番心を打たれました。ありがとうございました。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は貴重なお時間を割いて滅多に聞くことのできないお話を下さり、ありがとうございます。

今日、お話を聞いて、今まで知らなかった原爆、ヒロシマ、ササキ、そして兵隊の方についての内容は、本当に信じられないような悲惨だったということが、よく感じられました。

17歳という若さで、言葉だけでも十分すぎるくらいに地獄のような場所を、8人の方を率いて歩き、生きて帰ってきてくださった義三さんに、こういってよいのかはわからないけれど、「お疲れ様でした。

そして、ありがとうございます」という言葉をかけさせて頂きたいです。

義三さんが実際に見られた光景は、あのヒロシマの原爆の様子は、義三さんが感じたように私達もが感じることはできないけれど、

この話を絶やさないよう、後世まで残していきたいと思っていました。

途中でおっしゃっていた「長いようで短かった9日間」という言葉、とても印象に残りました。

本当に大変な思いをして、嫌だ、と思う瞬間が数えきれなかに「あつなにかわらな」

「短かっ」と感じられたのはそれほどお忙しい9日間を過ごされたのでしょうか。

あ、という間だったかもしれない9日間のお話を、永遠に記憶と記憶に残さなければいけない。これから社会を担うであろう

私達世代がこの悲惨な過去に目を背けず、向き合い、伝えていくべきだと

感じました。

本当に、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生のお話は、いままで僕が見聞きしてきたものの中で、最も衝撃的であり心に響くものでした。特に印象に残ったことは、原爆の威力の大きいです。『爆心地の近くの階段に座っていた男性が、一瞬にして黒いしみになってしまった』というお話を聞いて、僕は耳を疑いました。そんな悲惨な出来事が、日本で実際に起こったなんて、信じるのができませんでした。

『原爆』というこんな危険な兵器を開発し、それを使って人間を殺したのも、人間です。僕は、『この世界で最も恐ろしいのは人間である』と初めて感じました。戦争はある特定の人(軍人)が主導し、全く関係のなかったはずの庶民まで、被害が及びます。

日本は、唯一の被爆国であり、戦争の悲惨さを知っているはずですが、だから、どんなことがあろうと、これからは『平和主義』を貫いて、絶対に戦争が起きる事態を避けねばならないと今日、強く感じました。

今だに世界では核廃絶をめぐる問題は解決には至っていません。核保有国には、武力で問題を解決しようとする真意を捨て、核兵器を手放してもらい、世界に核兵器がない、また、戦争が起らない世界がくることを僕は願っています。

今日は、貴重なお話をして下さい、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

話しの中身は正真怖かった。特に第2陣の9人が爆心地に行き、人間とも思えない人間の姿を描写している部分は、想像だけでも十分に恐ろしいものだった。皮膚が火焼きたたね、手を引、はりと皮膚がすとり落ちる情景は実際に目の当たりにしたら気がくるうと思うほど怖いものだった。まあ、元安川から遺体を別の場所に移動する仕事を何日も何回もするのは、ある程度の尊厳を感じられた。遺体を背中で背負うのは気分が悪い、快くないところの話しではないと思う。それでも、軍の命令とはいえや、たのはすていと思う。そのようなある程度のせが言に居た中で、自分を失わずにいたことは尊厳した。その後も原爆で長い時間苦しんだと思うが、己女めて広島に行け、その復興を目の当たりに出来たことはとても良かった。長山奇は、日本票予定地から大きくはずれ、山間部に落ちて本当に良かったと思う。おそらく、広島ほど被害はおきなかたのたろう、被害が少なくて本当に良かった。また、他国でも原爆は絶文に落とさないでほしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を受講して、戦争を  
なぜしたのかが疑問になった。争は、  
勝敗を決めるためにするものだと思う。  
でも僕がいつも見ているプロ野球とは  
ちがって戦争は命に関わる争いだ。想。  
第1次世界大戦や第2次世界大戦など  
大きな戦争は多くの死者がいる。だから、  
もう戦争はしたくない。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

皆は先生の原爆が落ちた時の再現の  
ようなものに怖がっていたけど、池田義三さん  
のビデオにもあったように、文章とか言葉では  
尽くしきれないと感じました。池田先生の再現  
よりも、音が大きく視覚も奪われ、熱風  
が襲ってきて自分が吹き飛ばされる  
考えると怖くてたまらない。戦争をして  
はいけないというのは心の中でどこ  
かしらにはあるけど、それをより深く、  
真剣に考える良い機会になったと思います。  
また、考えるだけでは自分ひとりの気持ちしか  
重かからないけど、親などにこのことを伝え  
れば、この経験が何倍にもプラスに働くと  
思ったので、今日、親や兄に伝えてみよ  
うと思います。本当に貴重な経験になりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の被害については、本やテレビなどでたくさん目にしたことがありましたが、公演会に参加したのは始めてで、原爆の恐怖が深く心に残りました。被爆者の体験は悲惨すぎていつも目をそらしてから生きてきました。今回の授業で、お父さまの体験を今ここで起こっているかのように、細かなところまで感情的に表現してくたさって、被爆者の苦しみや恐怖をより鮮明に知ることができました。お父さまがおっしゃっていたように、実際に原爆の被害にあい、それを目の当たりにした時の感情をすべて理解することはできないかもしれませんが、これからも被爆者の体験をたくさん知り、被爆者の想いに寄り添う限り応えられるように、戦争や原爆の使用が二度と起こってはならないということを心に深く刻み、これから生きていきたいと思いました。真徳先生とても貴重な体験を聞かせていただき本当にありがとうございました。僕たちも先生のように被爆者の記憶を鮮明に後世へ語り継ぐことができるよう、日々の学習を積み重ね、被爆者の体験をもっと詳しく知っていきたくたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受け、いっどんな事が起こるか  
からないという事、実際に起こった時の心情も  
知れました。こういうような体験談を聞ける機会は  
滅多にないだろうから、これからも、記憶に刻んで  
おきたいと思いました。

また、今日の話を聞いて、実際に、広島に行ったりして、  
自分からなにが行動してみたいと思いました。他にも、友達や家族に  
話したりして、広めていきたいとも思います。

今日の話を聞く前は、8/6と8/9に原爆が落とされた  
という事実しか知りませんでした。しかし、今はその  
裏にはどのような考えがあったのか、その時の光景  
まで分かりました。

このような自分の新しい考え方を教えていただき、  
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

7/19

アメリカの爆弾が広島と長崎にもたらした、非常に大きな影響を知ることができました。池田さんのお話で、原爆が落ちるときの、沈黙が続いたとき、私は本当に恐怖でいっぱいでした。その後、爆音が聞こえてきたときは、全身に震えが走りました。しかし、実際にその爆音を感じ、熱線や爆風を体験した池田義三さんは、何にも例えられないような恐怖や不安があったと思います。さらに、爆心地に近づいていくほど、眼下の光景が悲惨なものになっていく様子は、思わずその情景が浮かんで来て、私たちはもう二度とそのような体験をしてはならないなと思いました。最後の、義三さんがビデオでおっしゃっていたように、被爆者の体験を、ありのまま再現することは不可能だと思います。けれど、被爆者が感じた想いを語りついで、これからの世代の心に伝え、今後戦争が起こらないようにしていきます。

本日は貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

これまで原爆についての話は何回も聞いたことがありますか、今回の原爆先生の特別授業は一番印象に残りました。他の原爆についての話と異なる点は「直接体験した人の話の内容が入っている」ということだと思いました。他の原爆についての話では原爆の威力や被害だけについて話すのに対し、今回の話では主人公の池田義三さんの体験談について詳しく語られていたため、実際の広島の方がとても良く伝わりました。そして怖くなったりすることもありました。(原爆が)今回はとても貴重な話をしていたたきありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆についてはあまり知らず、広島ではなく

長崎の方へ一度だけ行ったことがあるくらいでした。

今回の特別授業で、新たに知ったことや、さらに詳しく

知れたことはとても多いですが、その中でとくに原爆を落とす

地域の候補と条件についてが一番おもしろかったです。

条件について、空襲のなかった地域などと細かく

定めている所におもしろかったです。また、候補となっていた都市に

横浜、新潟、京都などが入っていたことにも

おもしろかったです。現在の場所での近い地域外候補に入っ

ていたと知り、とても恐しく感じました。

原爆の被害についても、とても多くのことを知ることができました。

熱線について、おわりが7000人にもなっていて、水かふ、どうしたのか

何人何人か赤く染まって死んでしまったと聞いたときに、

自分か想像した以上に熱くなることや、人形かかぶられているのに

対して、「きれいになる」と話したことで、私の母が見たら十分

いい姿だったのにもと、いいと聞くと想像かかぬのです。

今は同じようなことが絶対とは言えないけれども、可能性は低いので、

安心していただけますか。今日教えて下さったことを忘れないで、

もっと知識などを持っていたいと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私たちが普段、ニュースや新聞などで見聞していたりする原爆の話とは全く違って、より怖いという気持ちが強まりました。「よく覚えていた」という言葉の中に込められたその人の思いや気持ちの真実を改めて矢口アッとして刺激を受けました。体がぼろぼろになってしまった痛みやおいていかけてしお苦しさやかなしさなど私たちがこの先、おそろく経験することのむずかしい感情についてお話を聞いて、改めて戦争というものの恐ろしさを身に染めて感じました。また、義三さんの優しさにとっても感動しました。遺体の探す作業や運んだり、焼いたりする作業のお話を通して、「絶対にあきらめない！やりきる！」という本当に強い心があって尊敬しました。また、帰りに女性の治療をして、おぶって帰ったという話が義三さんの心の優しさを身に染めて感動しました。戦争で多くの人々がなくなってしまう中、行方不明になつたりしてしまっている中が、義三さんが江田島に戻ってくるのができたのは、義三さん自身の「みんなを救いたい」という真直な心と共に多くの人々を救ったからだと私は思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

今回は貴重な話を聞かせていただきありがとうございました。  
僕は今まで「戦争」や「原爆」について小学校やテレビで話を聞く機会があったため戦争についてある程度分かっているつもりでした。しかし今回先生の話を聞きそれは全くの誤解であったと気付きました。原爆に遭遇した「池田義三」さんのヒロシマでの9日間についての話では池田さんたちのトラックに被爆者の方々が集まり、「兵隊さん... 助けて...」と助けを求める様子、そして助けようと手を取ると火売けただれた皮膚がスリリと落ちる様子、そして倒れ「痛い... 助けて...」と激痛に耐えながら助けを求める様子。それらを想像すると怖くて震えが止まりませんでした。また同時に自分がこうした「原爆」によって苦しんだ人々のことを何も知らなかったと気付く、何とも言えない胸の締めつけられるような悲しい気持ちになりました。そして原爆の威力について今まで実感が湧かず人事のようになってしまっていたが、実際に熱線や衝撃波などによって付近のものや人(生物)が一瞬で跡かたもなく消えてしまった聞き、これは決して人事にしてはいけないことだと分かりました。今回話を聞いて気付いた思いは決して忘れず後世へと受け継ぎ、また、このような惨劇が二度と起こらないように自分達を守っていくといけないと思いました。今日は貴重なお話本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は池田先生のお父様の原爆投下に関するお話を聴くことができ、とても良い経験になりました。僕は今まで原爆はとても恐いことだから、これから生きていく上で後世にも受け継いでいくことが重要になると考えていました。先生のお話を聴き、改めて戦争は絶対にしてはいけない、そう思いました。先生のお話はとてもリアルで体の芯から「怖い」「恐い」「かわいそう」と思っている。被爆者の気持ちを常に想像しながら聴くことができました。日本も同じように攻撃していたので言えませんが、同じ人間としてなぜ見苦しい、人の精神を傷つけるようなことをするのかとても疑問で、少し不快感を覚えました。でも、この史上最も最悪と語るこの出来事を歴史上でなかったことになると何年経とうが決していけないことです。そのためにも僕たちがこの惨酷な出来事を先生のようにリアルに語り継いでいくことが必要だと思いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私が授業の中で印象に残っているのは、最後の義三さんのお言葉、そして原爆資料館訪問のエピソードです。原爆資料館で義三さんが発した、「きれいすぎる」という言葉が特に心に響いた。体験していない私たちは、どれだけ現実に近いようにしても、その時の現実をそのまま表せないのだと実感しました。しかし、「きれいすぎる」という言葉、義三さんのビデオの中での散髪さんぱつの沈黙から、最大限戦争の苦しさ、悲しさ、虚しさ...を感じるといっていきそうな気がしました。また、池田先生は事実をおしやるだけ、あまり多く説明されていないようでした。私はこれを「余白」と感じました。この余白を自分で考えてみたりすることで、もっと戦争に対して向き合えるのではないかと思います。授業の中、義三さんの目線で描いた「原爆」だけでなく、アメリカ軍の目線で描いた「原爆」の話も出てきました。このアメリカ軍の視点に立ったお話も印象に残っています。今まで私は、日本という被爆国の視点でしか事実を受け取っていませんでした。だから、松崎の町が空から一瞬見えたときに、歓喜していた話は衝撃でした。「戦争」ということに対して、色々な視点で見ることで、新たな発見があるのかもしれないと感じました。被爆者として語っている場面は感じにくい、恐怖を覚えたが、この感覚を経験できる機会は貴重だと思います。そんな貴重な体験を私たちにしてくださって、本当にありがとうございました。この経験を忘れない、日々「生きる」ことに感謝しています。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回の授業を受ける前と後で、

戦争や原爆に対する考えがまるで変わりました。  
これまでも、戦争に関する授業やお話を聞く  
機会はありましたが、今回のお話が一番  
心に響きました。

私は、これまで戦争があっただけ、原爆が落とされた  
という事実しか知りませんでした。

しかし、実際に体験された話を聞いて、  
戦争の生々しさ、恐しさなどを知ることが  
できました。原爆の情報は記録から  
いくらでも分りますか、その中の恐怖などの  
感情は体験した人にかんがらない  
ということも実感しました。

それでも、原爆先生のような活動を通して  
原爆の恐しさを伝えていくことが大切だ  
ということも分かりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

今まで、戦争の話といったら、「ちいちゃんのかげおくり」や「大人になれなかった弟たちへ」や、まんがの「おだしのゲン」などしか読んでいなかったため、内容が実際よりもマイルドになっていたものでした。でも、今回特別授業を受講したら、思っていたよりも、戦争がずと、つらくて、悲しくて、人間の心を深く傷つけるものだと分かりました。たとえば、広島に原爆をおとした「トラウマ」の名の由来となった軍艦の母艦は自分の息子が軍艦になる前の名前の飛行機が多くの人を救ったということをして苦しいと思え、死体を集めて焼く作業の事を知識としては知っていても実際に体験した人がいるということも考えたことはありませんでした。私がその作業をする人となって、やらなければいけない立場になったら、絶対に逃げ出したいし、その後もトラウマとなって残っていたと思います。けれど、実際に池田義三さんはその作業をしっかりとこなしていて、それでも今になっても思い出す涙が出るほどのものを心に残してしまう戦争というものは絶対に起こしてはいけないと改めて感じました。おかげで、戦争のさくさくさや平和の大切さを教えてくれて、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゆこ</sup>別授業を受講して

表

7/19

このお話を聞いて改めて「戦争はしてはいけない」と  
思いました。原爆の恐ろしさや、怖さをきちんと知  
ることができて本当によかったです。

私は、途中で怖くて気持ちが悪くなる感覚があっ  
たのですが、実際にそこにいた人は、その何倍も、  
何十倍も怖かったのだらうと考えると、いたたまれ  
なくなります。

このことは、後世にしっかり語り継いでいかなけ  
ればならないんだと思います。

言葉では伝えきれないものの方が多いかもけれ  
ないけれど、その事実を、恐怖を、思ったことをちや  
んとつなげなければならぬし、理解をすることが  
重要だと考えました。

もう三度と、戦争で苦しむ人を出してはいけ  
ない、そう思います。それで私は、今日学んだことを  
これからも忘れずにいます。

今日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

自分が思っていたより悲慘で無情で、目を背けたくなる現実を少しではあっても知る事ができ、驚きや恐怖の感情を抱いた。今の時代、昔より平和な社会になり、戦争の記憶や意識が自分たちの世代では薄れている部分があるが、過去に向き合い、現実を知り、平和に対する意識をより一層高めていく必要があると感じた。今回の特別授業は写真や音などで、今までの何倍も詳しいことを知る事ができた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

7/19

今日、この授業を受けて、素直に感じたことは、原爆は本当に「怖じや恐しい」で表しきることのできないようなものだということです。池田義三さんの物語を聞いて、その当時の広島では、今まで見たことのないような悲しい状況であったと分かりました。広島では死亡率が40%で3000℃もの熱をあびていたと知り、今では想像できない事で、それほど恐しい物だと分かりました。僕は、ラストに聞いた池田義三さんが広島を訪れた時に、広島の資料館にある被爆者の人形に対して「きれいすぎる」と言ったことが印象に残っています。ここでまた、実体験者にしか分からないような被爆者の姿があり、全身が焼けて、肉が見えていて傷だらけな姿は、自分がいくら想像しても、それよりも悲しいのだらうと分かり、もう起こしてはいけない事だと思いました。

僕は今日の授業を聞いて、戦争や原爆の投下は、もう起こしてはいけない、ものすごく恐しいものであると前よりも強く思いました。今日は、授業をしていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

貴重なお話をありがとうございました。私は、長崎や  
広島に行ったことがなく原爆のこともよく知りませんでした  
でも、今日想像をしていただいたよりはるかに悲惨な出来事  
だと知ってとてもショックでした。たった一度爆弾を落とす  
だけで14万人もの尊い命が失われ、その内2万人が、  
跡形も残らないというのは非現実的すぎて思わず目を  
背けたくなりました。それでも実際にそれは起こったと  
いうことは同じ日本人としてしっかり見つめ直すべきこと  
だなと強く思いました。そして、もう二度とこのような  
悲劇を起こしてはいけないと思いました。原爆先生の  
語るときの間のとり方などでも原爆を酷さが伝わって  
きました。特に、義三さんの5分間のビデオは思わず  
涙がでそうになりました。原爆資料館の人形は、写真  
からでもゾッとしましたが、実際は、こんな生易しくな  
と語られている姿にとっても胸を打たれました。こんなこと  
を二度と起こさないために私は原爆の酷さを自分の周り  
の人にたくさん伝えようと思います。少しでも多くの方が  
原爆の怖さを今日の私のように知っていただきたいと思います。  
本当にありがとうございました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、貴重な時間をありがとうございました。今回の授業で、より原爆について学ぶことができました。そもそも私は、父の出身地が長崎県であることから、原爆についての知識はほぼほとんどにありました。また、父方の私のひいおじいさんは、原爆を経験しています。実際に原爆を被っていたこともあり、私のおじいさんの姉姉2人が亡くなっています。私は、このことから、自分も被爆者4代目であることを知っていたため、怖さを持っていました。しかし、今回の授業を受けさせていただき、「原爆がどれだけの人も苦しめて、どれだけの人に影響を与えたのか。」と考えると自分と同じような思いを持っている人も少なくないのではないか、と思うことができました。それに、実際に経験したことのある人もない人も原爆がどのようなものだったか知ることで被爆者に対する差別を減らしていくこともできると思いました。もっと詳しく知って、自分の妹にも原爆について教えられるくらいに原爆に対する意識を強めていこうと思います。今日は誠にありがとうございました。この授業は、原爆と同じように私にとって、一生忘れません。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

友達の原爆ドームに行ってきたことがあり、話を聞いただけで怖さを感じたことがあった。けれど、今日話を聞いて、恐しさという言葉だけでは表しきれないほどの感情を覚えた。私のひいおじいちゃんも戦争に行き、帰ってきたし、今生きているひいおじいちゃんもその時代を体験している。ひいおじいちゃんが今生きたら100才を超え、ひいおじいちゃんは今96才だ。そのひいおじいちゃんから聞く話より生々しさの伝わり、想像するだけで考えたくもなかった。そして義三さんも目を閉じ、逃げたい気持ちでいっぱいだったと思う。肉と骨が見え、中々だこのように三日ほくらされた死体を運ぶのを見て私は考えられた。中々も「中々だ」という表現が私にとって辛いものだった。もし私がその「中々だ」のようになる状態を目にしたら、そこから逃げようと思う。中々だということも分かっていても気持ちが悪くなってしまった。でも、そこに居た人たちの思いはどんな言葉に例えられたいくらいつつな気がした。と思う。本当に戦争はしたくない。原爆にも会いたくない。でも、いつかまた戦争が起る可能性があることはある。飯から死んでしまいたくなるくらい辛いと思う。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私自身、今まで小学校、中学校と戦争についての学習を何度も行っており、「今を大切に生きていきたい。」と何度も書いてきましたが、池田先生の授業を受けて原爆、戦争に対する常識がいつも覆されました。まず、原爆が投下された日の様子、すさまじい音、光…想像もつかないほど大きくすべてを破壊するかのような衝撃は、現代を生きる私たちに到底理解できるものではありませんが、受講している間ずっと私は恐怖のあまり手が震えそれを抑えるために何度も何度も手を握りしめていました。また、私も「戦争」はものすごく怖かったけれどもどこか幻のように思っていた節があり、原爆はたつと一瞬にして全てを抹殺奪ったのだと虚しさも言えぬ複雑な感情にかられていました。さらに、池田先生の話の力はまるでその場に立っているかのような緊迫感があり、町中の人々がもはや人間の姿でなく、死体となって川の底を埋めつくすような何とも残酷なものだ。こうして今、椅子に座り授業を受けている私たちの日常に対するありがたみと同時に幻のような出来事と思ひ、何もできていない無力さをひどく痛感させられました。「もう一度と、戦争が起るとしてはいやない」といふ、戦争の、原爆の残酷さを何も知らずに言っていた過去の自分がひどく恥ずかしい限りです。同時に、自国の権威を見せつける為と云い、笑顔で爆撃に乗る当時のアメリカの軍人に対して煮え沸くような強い怒りが沸き上がっていました。戦争を知らない私たちは、原爆に対して何一つ言えるような立場ではありません。ですが、原爆の残酷さ、今感じている私たちの無力感を自分の経験として胸に刻み、「今、自分に何が出来るか」を考えた、「今」を生きていこうと思ひます。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受講して、やっと本当の原爆のおそろしさがわかりました。小学生のころは広島にリトルボーイ、長崎にファットマンが落ちて、たふさふさの人が亡くなりました。『たいいにおいね〜』くらいで僕の頭は止まってきました。そして中学になり、よりいろんなことを考えていく中で今日の話を聞いて、本当に聞いて良かったと思いました。トラックをかみ且かけを求めぬ被災者、それに手をさしのべたら皮が「ズルズル」とはがれていく。こんな想像したくありませんでしたが、でもこれが現実なのだ。最後のビデオを見てやっと理解しました。そのことがあって今が成り立っている。僕は今幸せなんだなと思いました。僕は勉強が苦手でもよくよしてましたが、原爆は私より数億倍、いや、比喩物にならないくらい怖いものでした。僕は勉強もスポーツも生きてること、できること自体幸せなんだなとほいめて気づきました。この気づきがあったのも原爆先生、今日は本当にすばらしい授業ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾に関する知識だけでなく、実体験を  
仔細に説明下さったことにより、より原子爆弾及び  
戦争の恐ろしさ、残虐性を知ることができた。

人の生き死にに関わる話は、すしこおく感じる点も  
あったが、それを含めて多くのことを得ることができた  
有意義な2時間だったと思う。

戦争や兵器というのは人間が産み出した負の産物  
で、人間同士のみにく争いは、必ず終わらせなければ  
ならない。その中でも原子爆弾を筆頭とする  
核兵器は、残虐性や威力において最大規模の  
ものである。いまでも一部の国では核兵器が  
保有されており、核の脅威は決して過去のものでは  
ないようにも思えた。

私が大人になったとき、平和な世界を築いていくには  
今、私が全力で生きて、学ぶ必要がある。「戦争  
は絶対におこしてはいけない」このことを胸に、これから  
生きていきたいと強く感じた。

本日はお忙しいなか、貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今まで、原爆の話を聞いたことがあるものと今回、聞かせていただいたお話と比べると全くの別物でおどろきもあるけどそれよりも苦しく胸がつかえる思いを実感しました。義三さんは今の私とたまたまの3つしか違わない、ここにたくさんの地獄を見ていらっしたと思うと言葉では言いあらわせないくらいのおどろきをうけます。私はまだ原爆ドームや資料館に行ったことがなく、ニュースのVTRで資料館、まさにあの女性の模型を見たことがありました。私はあれを見た時、怖すぎて目をそむけてしまいました。でも義三さんは「きれいすぎる…」とあっらわっていたと聞いて言葉がでませんでした。それと私はどなたに恵まれているのか幸せなのかひたひた実感しました。原爆の知識についてもおどろくばかりでヒロシマに投下された爆弾が「リトルボーイ(小さな少年)」でそれを運んできたのが千バット隊長の母親の名前のB29爆撃機「エラ・ガイ」だったこと、原爆当時屋外にいた2万人のヒロシマに住んでいた方達は一瞬で亡くなってしまったこと、原爆の訓練として1970年爆弾が日本に投下されていたことなど様々なことをまったく知りませんでした。なので原爆症のことについても知ることが私達がするべきことだと思おうので調べてみようと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今まで「戦争・原爆はこわい」と思っていました。今日の話を聞いて「こわい」では表しきれないものなのだと思います。原爆投下の候補になった都市に「横浜」が入っていて、お身近に感じました。リトルボーイやファットマンが4枚以上あることにとても驚きました。

原爆による被害の「熱線」「衝撃波」「放射線」で特に驚いたのは、熱線の話です。球の中心が100万℃もあり、その表面が7000℃で、想像ですなほほどあついのだと思いました。地面付近でも3000℃あり、一瞬で水分が全部うばわれることに本当におどろきました。また、爆心地では、熱線と衝撃波が垂直にくるため、外にいる人はかげがなく、避けようがないことに恐怖を感じました。放射線をたくまんあびてしまうこととなる「原爆病」に今も苦しんでいる人がいることを知りませんでした。そして、広島県の被爆者の割合が全体の70%もいることに悲しく、こわくなりました。どれだけ苦しんだ人がいるのかを知ることができました。

今まで原爆の話を書いたことがありましたが、今日のように体験した方のお話を聞いたのは初めてでした。今日のお話で、原爆やその被害についてくわしく知ることができました。それを家族にも伝えたと思います。今日は、貴重なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこウ

表

名前は裏面に記入してください

私は今まで、戦争の話沢山耳にしてきましたが、今まで聞いたどの話よりも衝撃を受けました。また、戦争、原子爆弾のおそろしさを改めて知り、戦争は今後絶対におこしてはいけないと思い、また、そのおそろしさを後世に語り継いでいくことが必要だと思いました。近い未来に同じ状況になることは考えにくいとは思いますが、今自分は命を大切に、何事にも全力で取り組んでいくべきなのだと思います。貴重なお話を聞いて、大切な事を学ばせていただくことができたと感じています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まず私が一番最初に感じたことは「これい」ということです。この原爆投下の候補から京都を外した理由で日本人の感情を考えたというものでアメリカはそんなことまで考えていたのか、ということをおもいました。他にも長山崎は中心に原爆を投下すると、長山崎の大半が破壊できることだったりを考えていたりするのは「これい」と感じました。

しかし、原爆に文を打って「これい」という感情を持ち続けるのではなく、少しでも理解を深めることが大切だと思いました。現在では原爆を実際に経験した人は少なくなっているのですが、こういったお話を自分達若い世代がもっと後の世代の子に伝えていこうと思います。

池田先生の話し方で緊張感が生まれ、自分が本当にそこにいるかのような気持ちになりました。

今回は貴重なお話をしていたたいありがとうございます。



# 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

31年間生きてきて、今までで最も深く、戦争、平和、原爆、広島について考えた100分でした。話を聞く中で、何故広島に原爆の被害があったのか、その話がありました。第一候補に挙げられた京都には1200年の歴史の中で多くの文化物が残っており、その理由にはとても怒りを覚えました。では何故広島は良かったのでしょうか。そこで選ばれる理由、その気持ちなどはとても感動的でした。もちろん、池田義三さんの話を聞いて、残りの話の胸が痛む、話を聞いて感えて自分の終った今でも胸の鼓動が止まらない自分ではありません。その中で、多くの知見を得た時間でした。

今の時代を生きる私たちにとって、戦争を起すのは、平和を守ることは勿論です。しかし、私のような一教員にできることは、この時代に生きる生かすこと、そして生きていく子どもたちが夏、再び、一生懸命に生きていくことができるようにすることだと思います。今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

もともと原爆の恐しさ、怖さについては図書館の本で読んだり資料集などを通してある程度分かったつもりになっていました。でも現実はいくらも悲しくて生々しいものだ。今回の授業を受講して初めて知りました。池田先生のお話と今日の主人公であるよしぞうさんの実体験による話。この2つによって原爆を体験した側の気持ち、そして想いが伝わりました。また、よしぞうさんの9日間の日記からは様々な感情、その時の現状など事細やかに記載されていたことが感じ取れました。

自分は本当になににも知っていなかったんだと今日強く感じました。被爆した後、人がどうなってしまうのか、実際の軍人さん達がどんな想いで、どんな気持ちで死んでしまった人を運んだのかなど知らないことだらけで池田先生とよしぞうさんのお話をきいて、想像してすごくつらい気持ちになりました。

今まで自分から原爆についての本を読むということにはしてきてはいませんが写真や映画などの本当の人が想像ではなく本物として見る事ができるものを見ようとはしてきませんでした。なぜなら怖かったからです。悲しくなるからです。自分には関係ないかと思ってしまうからです。しかし、怖くても関係ないかもしれないけど、一つの出来事としてこの悲劇に目を向けてみようと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

池田義三さんが主人公の視点でお話が進んで  
いたのでも、当時の状況や悲惨さを  
想像しやすくて、原爆の怖さを肌で  
感じることができた。

今回のお話で最も印象に残ったのは  
B-29爆撃機の知前と遺体の焼却  
のところが、

千バット大佐の操縦するB-29がエラ、ガ  
という知前で、それが母の知前と同じというところで  
原爆を落とすというの迷いや後ろめたさを  
紹介せうとしていたんじゃないかと思った。

遺体の焼却のところでは生々しい感触や  
強烈な臭いを想像してほしいんじゃない  
苦しかっただろうと思った。

講座を通じて改めて原爆(戦争)という  
悲しい歴史を繰り返さないように、皆が  
詳しく知るべきなのじゃないかと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

被爆者が助けを求めたところから、助けを求めたところから、兵隊は助けを求めたところから、怖かった。熱線と直に当ると、皮膚がはげるといのは聞いたことがあったが、また、トラックが動けなくなる程とは思わなかった。また、原爆の中心は100万℃で球体の表面は7000℃、その球体から500m以内の土地は3000℃と僕の思っていた温度より圧倒的に高かった。そのせいで、人の座っていたところは黒い汁に変えているといのは怖いと思う。

原爆が爆発した後に、原爆を運んだエノケン・ゲイには2度のしゅうげき波が伝わっている。1度目は爆発によるしゅうげき波、2度目はそのしゅうげき波が地面からはねかえってきたしゅうげき波と、威力が高く驚いた。

僕は原爆先生の話を聞き、戦争はたくさんの人を巻き込むよくなることだと改めて思った。また、生き残った方にも深い傷を残している嫌なところばかりだと思った。もっこれ以上苦しむ人を出さないために、戦争は絶対にしてはならないと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

今から70年以上前の出来事ではあるが、原子爆弾によって多くの命が失われたのだという事を、忘れないうにしたいと思った。被爆者たちもかなり高年齢になってきて、実際に経験した人が少なくなっている。今回の特別授業を通して、被爆者の経験や体験を、本やテレビで手に入れた情報よりも、とくめく手に入れたことかてまたの、この貴重な体験を大切に、原爆についての理解を深めていまたいと思った。原爆以外にもさまざまなことについて知っている、体験した人が身近にもいると思うので、そういった方々に話を聞くなどして、戦争についての理解を深め、忘れずに住まていまたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

もしも、小倉で、原爆の投下が成功して  
いたう。長崎で、雲の切れ目、瞬間、逃が  
していったう。と考えると、色々な事情が重なり  
広島と長崎に原爆が落とされたのが悲しいと感じ  
たが、もし小倉に落とされていたり雲がかか  
りなが、なら、小倉に被害があつたかも知れない、また  
京都、横浜、新潟に被害があつた可能性もある、  
ため、一概に偶然が悪い事でもないのだと思ふ。た  
偶然、戦争のな時代には生まれて、生活できている  
事に感謝し、生きていきたいと思ふ。そして、この生活  
をつくるために復興への携わ、た方々を  
忘れないようにしていきたい。



原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の受講で、表現できない怒りを感じた。理  
 不尽を感じた。前の道徳で、ゴミを捨て生活している少女の話を見  
 たが、それを見た怒りを感じた。どちらも苦しむゆえに全く罪はな  
 いのだ。日本全体の罪<sup>カ</sup>一人一人の罪ではない。罪であるとしても、万  
 死に値する罪ではないはずなのに、いきなり頭上に太陽が降って  
 きて、自分の肉体は消え、死んだのと同じだけ残っている状況は理不尽  
 だと思ふ。原爆先生の文、義三さんの体験が痛ましく悲痛で、今、こうか  
 て何一つ障壁もない世帯にいる僕らには、想像な資格外で、ありはしない  
 だろうと思う。で勝戦に同情したり、憐れんだりすることは言外にないだろうが、  
 僕はこの戦争を美化したり、過去のものにおのづかには被害者への冒とくだと思ふ。  
 義三さんが原爆資料館の人形を見て「綺麗すぎ」とおっしゃった様に僕ら  
 が想像で美化おのづかには馬太目だし、論外だと思ふ。当事者に自分から  
 いふこともあろうが、それでも、何かは正しさはあるのではない。僕は沖縄  
 任んがいたので沖縄戦と重ね合わせたりしていたが、この「平和式典」で  
 首相とかが参加するのが、「政治」の一つではなく、もと「被害者に寄り  
 添ふ」とか、物言ひではなくて、おのづかには常々、勝戦と思ひ、います  
 最後に、完全な個人の感想だが、池田先生が、お父さんの死因  
 を「原爆暴症」ではなく、「脳硬塞」と言った時の、苦しみという悲しみが、  
 ずんずんとのしかる、でもおのづかには故人に対する、誠心勝戦の想像で非

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)  
 常に申し訳ないのですが、平和記念公園で、被害者として名を運ぶ、この単刀直入、被害者  
 さを悔しいだろうと思ひます。  
 会いたくはありますが、実際は別の理由でせうか、こま  
 づかには、右様なごさうじやうです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

戦争というものは人の命を簡単に奪ってしまうものなのだと改めて感じた。今回の講座は、今までテレビで見ききしたことや新聞や本などで読んだことよりも現実味があった。

また、原爆の威力についてもおどろきたった。原爆の中心部分は100万度にまで上がり、その周囲も太陽の表面温度の1000℃よりもさらに高い7000℃で、太陽が上空600mにあるのとほぼ同じときいて、原爆の威力はすさまじいと感じた。そして、地面の温度も3000℃にまで達していただろうという話をきいて、よくそのような温度でも生きていられる人がいたな、と思った。爆発したとき、川に入っ、身を守ろうとした人たちは亡くなってしまったという事実にはとても驚きた。3000℃にまで達するので、川の水がふっとうしてしまうのは、よく考えれば「当たり前」のことだが、もし自分がその場にいたら間違えなく川に飛びこんでいたであろうと思った。

今回の講座を通して、やはり戦争は絶対にいけないと思った。よく、「人間の命は地球よりも重い」というようなことをきく。そのような命を一瞬にして簡単に奪うようなことはあってはならない。今日の講座で考えたことを、常に心に留めて生活していきたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今まで、小学校で何度か原爆について習ったり、  
広島ヒロシマの原爆について書かれた「はたしのゲン」  
を読んだりしたことかあつたので、原爆については  
わりと知っているつもりだったが、今日先生の話を  
聞き、原爆かとても恐ろしいものだということ  
を体で感じた気がした。前半で義三さんか体験  
したことをもとにした話を聞いていた際に、今まで  
で一番原爆戦争の怖さを実感した。お話を、原  
爆が落ちる瞬間になる時、ずくハ臓かどきどき  
して手に汗もかいた。この時こんな経験は絶対  
にしたくないと思った。そして、これは私だけなく  
世界のどんな人にも経験してほしいと強く  
思つた。最後の義三さんのビデオを見た時、  
ハか痛くつらい気持ちになつた。自分たちの手  
で戦争や紛争など人の命が奪われてしま  
うようなものはなくしたい。そのため、今日感  
じたこの思つを家族などの身近な人から多くの  
人に伝えたいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

被爆者ではなく、助けた兵士の体験したことを聞いたことは、とても貴重なな、と思いました。5人に2人くらいの人々が亡くなる中、助けて人々を助ける、ということはすごいなと感じました。家族や知人のことも心配だったと思いますが、そんな中、消火活動や死体の回収や火葬など普通の人なら絶対できないと思います。そういった方々の努力が、今の広島につながっているのではないかと、思うほど悲しい気持ちになりました。

しかし、原爆の予定地、その条件等を知り、あの怖い原爆の話の裏がこのようなものだ、と驚きました。特に一番驚いたのは天候によって投下の断念を想定していたということ。諦める可能性があるならなぜ投下した、とも思いましたが、アメリカ側にも色々あったと知りました。

世界で唯一原爆被害を受けた国として、日本はかわいそうな国とされていますが、そこまでのアメリカも、そこから復興する日本は、ある意味すごい国だな、とこの講演を受けて感じました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆について詳しいことは全く知らなかつたが、アメリカがどこにおとすかの候  
 補や原爆の温度など、幸く詳しいことまで知ることができてよかつた。  
 なかでも一番驚いたのが、衝撃波が2度もくることだつた。原爆は  
 そもそも地面に着いてから爆破するものだと思つていたので、600mほどの  
 上空で爆破するといふ事実に驚いたが、上空で爆破したものの衝撃波  
 が地面でさらにひかいて2度目の衝撃波を生むといふのに驚いた。  
 また、原爆による高熱で空気が膨張し、真空状態を引き起こしたことに  
 も驚いた。今日の特別授業を受講し、原爆について、私は何も知らない  
 のに知り、原爆のおそろしさを後世に伝えようとしても、言葉であらわすこと  
 ができず、言葉で伝えようとすると生易しいものとなつてしまい、原爆の本当の  
 おそろしさは完璧には後世に語りつけないのでは、と思つた。しかし、  
 できる範囲で原爆のおそろしさを理解し、もう二度と、戦争を  
 起こさないようにし、原爆に手を出さないようにすることが、被爆国  
 にすみ、これからをわづらうしていく私たちにできる最大限のことなの  
 ではないかと思つた。この特別授業を受講しなければ知らなかつ  
 たことはかりたつたので、受講することができてよかつたと思つた。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことはテレビとかでときどき見るけど

今回の授業がもっとくわしく知ることができた。

すっごくくわしく話してくださったから

聞きながら想像するととても恐しかった。

爆心地で遺体を探し、かついでほんたうに

被爆した方の皮膚が溶けてしまっているのは

すっごく怖かったし、実際に見たり体験した人は

本当にすっごく思った。

自分だったら怖くてさんなことできないと思う。

原爆は人を一瞬で消してしまうくらい恐ろしいか

があることを知った。また、爆発で7000℃以上になって

太陽の表面温度を超えたり地表は3000℃以上で

体中の水分が蒸発してしまうのを聞いて怖かった。

原爆や戦争の恐ろしさも絶対にあこびってはいけな

ことを改めて知った。

今日知ったり話を聞いて感じたことは

絶対に忘れないようにしたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7/19

僕は今も、原爆の恐ろしさを全然知らなくて、8月6日に広島・8月9日に長崎に  
 落とされたことぐらいしか知っているとはなりました。たまたま今日の授業を聞いて、  
 原爆がどのほど怖いものなのかということを知り、ゾクゾクしました。  
 先生の話を聞いて一番恐ろしかったことは、原爆が太陽よりも熱い、ということ。  
 普段生活している中の太陽でも、まぶしく感じてしまうのに、それが600mしか  
 はなっていない上空にあると思うと、すこしく怖くなりました。  
 また、原爆を落とされたため、当時の広島の人口の5人に2人が亡くなって  
 しまうのは、すこしく心にダメージが大きい。「原爆」という怖さが異常に感じられる。  
 でも原爆が落ちてくるなんて誰も思っていなかったし、誰もがそれを  
 望んでいなかったはずなのに、戦争がもたらした「原爆」という、たった  
 3m程度の小さな爆弾が多くの命を奪ってしまうなんて、絶対に  
 許してはいけないうちだと思ふ。それにもう二度と二のようには悲しい、それ  
 恐ろしいとは起きてはいけないうちだ。それなのに、まだ国がうしろ向きで  
 している。だから世界中のみんなが仲良くなるのは、戦争なども起きないと思ふので  
 どこの国よりも恐ろしい経験をしている日本が世界の戦争の気づかい  
 へとむと伝えていくべきだと思ふ。  
 それだけでも平和な未来が来ることを僕の唯一の願いだ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、戦争や原爆は、改めて怖いなと感じたし、実際に体験した人は私達にはほほかりしれないほどの恐怖があるということを感じました。そして、原爆先生からの話のように、原爆が落ちた場所の候補には横浜も含まれていて、もしかしたら私達の住んでいた近くに落ちていたかもしれないと考えることが出来ます。また、被爆者の中には、原爆で亡くなったのではなく、衝撃波やその後の高熱、放射線などによって亡くなる人も少なくないことを聞いて、原爆だけがこわいものではないかと思いました。長崎や広島に落ちた原爆によって、人を差別なく殺してしまう世の中にもうなっていないかという思いがとて伝わったし、私達は「日常がある」ということに感謝して生活していくことがいま私達にできることだと思いました。最後に、今でも義三さんのように、実際の恐怖を知っている人達の思いを伝えていらっしゃる池田先生にも感謝したいと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の話は、いつも戦争の話などを聞くより数倍怖く感じた。  
それがなぜだったのか考えてみると、いつもは視覚情報(文章とか、映像とか)で戦争・原爆について知るが、今回は音声(聴覚情報)が多かったからではないかと思った。あと当時の様子の描写(?)や説明が細やかで、臨場感があって自分の中でその時のことを想像して怖くなったのかなと思った。(文章だとその文を見落としてしまいうので)特に原爆の音の再現が細かくて、本当にその場にいらした。当時の恐怖が時を越えて現在の私達におさえかからてきている感じというか、あれを口だけでやっている。というのむしろいいと思うし、間の取り方が効果的で、そう怖く感じた。後で友達に聞いたら私はそのときずっと縮こまっていたらしくて、自分でも恐怖で体が緊張して固まっているという感覚があった。今までたくさん戦争とか災害とか「怖いもの」の授業(講演)を受けてきたけれど、こまで「本当に今ここから逃げ出したい(逃げても怖いだけなんだろうなあ)」と思ったものは初めてだったと思う。あそこまで細かく記録した義三さんも、それだけ当時の恐怖を伝えたかったんだろうな-と感じた。描写の中で特に原爆直後のやけどで皮膚が悲惨な状態について書いている部分が怖かった(自分がそうなたら、想像して怖くなるんだと思う)。前に本で火事の中の描写を読んで(それも怖かったけれど)それと同じ感じなんだろうな-と思った。そして、キノコ雲の発生のしかたの説明とかは興味深くて、理科の授業みたいだった。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受けてみて、先生が、広島之音に似せて風之音、爆発の音を出した時、とても怖かったです。けれども、広島之音は、あれよりも前ぶれなく来て、もっと大きな音で、光が恐しかったんだなと思いました。太陽の表面の温度が6000℃なのに、それより、1000℃も高いものが、600mにあったのが、とても原爆の威力ものがたせるのかと思いました。原爆ってきいて、自分は、原爆ドームがもっとも思っ浮かんでました。

本当に何も言えないうらぐっとくる言葉が明くて、けれども私たちの年代がこれを学ばないともっと先の将来、戦争の事が分からないう世代が出来てしまっ、また戦争が起こってしまうかもしれない。

そうならなうために上から下の世代へ、戦争の恐しさと、平和の大切さを語り継いで

かなければならなうと思っました。自分のばあばもじいじも戦争の年代で生きてったけれども、

生まれて一回も戦争についての話を聞いたことが

ありません。だからこそ学校などで、先生の話が大切

だと思っました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は史料館にも行ったことがなかったけれど、  
今日『000℃の少年』の中身をきいて、実際に  
義三さんが見た光景の異様さが恐ろしさが  
少しかもしれないけどたくさん伝わってきた。  
どんな範囲で、どれくらいの被害があったのかという  
ことは前にもきいたことがあった。けれど、おけの中  
でひざを抱えて死んでいた人や虫がわいた被爆  
者の死体の話など、体験者しか知らないようなこと  
が今日たくさん伝わってきて、その悲惨さが感じら  
れた。たった1つの爆弾がここまでのもをもたらす  
のだと分かって、絶対に将来同じことが無いよう  
にしなければいけないと思った。自分にそれを  
決める権利はないけれど、決める権利をもつ人  
たちに少しでも酷さが理解されるために、この  
ような話を多くの人に広めていくことが大切だ  
と感じた。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

これまで原爆の話を知ったことは何度もあるが、今回初めて知った  
 ことも多く改めて戦争が二度と起るはいけないことだということを知った。  
 私は、太陽の表面温度より1000℃も高くて7000℃のものから上空600m  
 におちてきたことにはじめて知っていた。熱いというより死体くさいは  
 残る熱さだと思っていたので、すさまじい人外座っていたから4に  
 黒いシミだけが残った写真は一番印象に残った。  
 鉄を溶かすほどの熱線をおび皮膚が焼けたばかりで、人たさ。  
 その救助をする人たさの苦しみを考えると、とて胸が痛む。  
 原爆から47年では伝えきれない当時の非散さや  
 最後の映像の、何十年も前の出来事と思いきい涙がでてきて  
 しまうほどの心の傷は、後世に、世界中に伝えていかねけれ  
 ばならないことだと思った。そして少しでも被爆者の苦しみを知り  
 ながら戦争をなくすために二度と起さずいなくなりたいと心から願う。  
 体にはいれなかったり、肉がはくはくした様子やと見ていた  
 軍の人たちの精神がどうなっていたのか身に感した  
 想像するだけで下も身持った悪い。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

とにかく原爆はよ、い死んでしまった。重傷を  
 おってしま、他人がかわいそうに思、り。  
 死んでしま、他人の中には自分で母を助けたい  
 けど早さで死んでしま、他人、最後に家族と会  
 えずに死んでしま、他人がでかいて、話を聞いて  
 悲しくな、た。命は簡単に奪くせる、だから  
 こを大切にしたいがなければ存しないのだから  
 改めて強く感じた。心の底から生きていたい  
 と思、ていても死んでしま、うことある。  
 これが何より悲しい。今後二度とこのようなこと  
 が起きてほ、いけな、いと強く思、た。今回の受講  
 で、命の大切さ、そして生きるということの大切さ  
 がよく分、かった。安心して暮らせている日々、感謝  
 し、たい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

アメリカの兵器の威力を示すために長崎や広島が  
狙われたという話を聞いて、とても身震うて人間性の欠片  
も残国だと思えた。また、チャット大佐は母の名を大量殺人の  
兵器を運ぶ航空機につけたら、母親に失礼と休考  
しないのかと聞いた。

又「天候が悪いなら中止」というのから、本当に必要な攻撃では  
ないことが読みとれて、いらぬさを感じる。

さらに長崎に投下したのは、燃料切れのため沖繩に着陸  
したということを知ると、あの海に落ちて死ぬものが  
多いのかと聞いた。

日本の戦闘機と戦って逃げたわけでもない、だから小は  
たかの子供だと思える。

しかし、義三と大佐の道徳から思えば、ある行動に於いて、人々が  
狙われたことだと思えば、私もこのように「情」があり、正しい行動かたで、  
多くの犠牲者による人間に於ける

また、工場の「戦時名起しを止めた」というのが、相手の  
人数があまり以上では不可能なわけだ、どちらかという、  
「アメリカの兵隊に非難する人」に於いて生い付かない、と彼らが  
知望いのではなかったと聞いた。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、とても貴重なお話、ありがとうございました。

私の家族は生まれ、育ちどちらも神奈川県なので、広島や長崎のことはあまり知りませんでした。私は原爆についての番組をテレビでしていたとしても、ただ「怖いから」という理由で知ることをやめていました。今日、先生の話を聞いてもちろん怖かったけれど、今後絶対に戦争をしてはいけない、許されないことだとあらためて感じることができました。罪のない人々が大量死してしまったこの原爆では、本当に多くの人々が泣き、さけび、悲しんだと思います。とても胸がしめつけられるようなお話でした。私は、なぜ原爆を投下するのを広島と長崎にしたのか知らなかったもので、とても衝撃的でした。原爆が爆発したとき、中心が100万℃、表面が17000℃、地面が3000℃となることに驚きました。被爆者数24万人、死者数14万人という数に本当にふるえを感じました。このお話を忘れることなく、この先語り継いでいきたいと思っています。また、このお話を家族に話したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回は貴重なお話を聞いて戦争について  
深く考えるきっかけにはなったと思う。実際にあつた  
話をインテリのジョーで話していて、とても現実味  
があつた。

最後のビデオでは、涙が出そうになつた。

死体を背負った冷めたと生きている人のあつたかさの違いを  
聞いた時、胸の奥がジーンとなつた。

僕は、原爆ドームに行つたことがないが、展示物がかつたり見ていられた。

この話は聞いてはいたが、実際はこんなもんじゃない。生ぬるい  
と聞いた時、見たことがない僕でも電流が流れたように驚きか

全身をかたむく→Eのを今のおつにかまえている。

原爆お姉さん飛行機の名前が、キバット大佐の母の名前  
の「エリカ」だということにおどろいた。その母から  
著せられる「リンシボー」は、キバット大佐の兄弟姉妹かと  
考へてしまつた。

今回は、本当に貴重な体験談を聞かせていただき、  
とても感謝しています。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゆこう</sup>別授業を受講して

表

7/19

8月6日に近くなると、毎年テレビで原爆の特集が組まれる。私もそれを見て、  
「原爆は怖いな」と感じる。しかし、今日伺ったお話は、テレビなんかより何倍、何十  
倍もリアルだった。恐怖、というより本能的に目を耳を背けたくなるほどだ。  
お話のなかで、エラ・ゲイに乗っていたアメリカ兵さえも恐怖でふるえたと  
あり、原爆の恐ろしさか改めて分かった。また印象に残ったのは、  
爆心の真下にいた方はもう跡形もなく消えてしまったことだ。しかも  
2万人の方がそうして命を失っていて言葉をなくした。亡くなった方は  
もちろんその遺族の方のことも考えるだけで胸が痛む。また、大やけど  
を負って川に飛び込んだ人の二重苦は想像も及ばないほどだろう。  
本当に私がこれだけ想像したとしても、実際に被爆した方の恐怖、痛み、  
絶望などには到底届かないものなんだろうなと思えた。そして最も印象  
に残ったのは義三さんの「き水いすぎる」という一言。あの画像1枚で  
も私はかなり恐怖したのに、それがき水いすぎる、というのに言葉を  
失った。  
これほどに被害をうけながら、アメリカの格のかさに入り、条約にも  
署名しない日本が信じられないと改めて思った。これからも原爆を  
風化させることなく、次の世代、その先へと伝えていかねば  
ならないとばかり思う。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

いままで自分が思っていたよりも、何倍も原爆は恐ろしいもの  
だと感じました。

前まで自分は、原爆について何となく知っているくら  
いで、具体的なことなど知らなもので、どれくらい力があるかは知  
りませんでした。ですが今回の授業で、表面温度が7000℃  
を越えていたり、衝撃波の速さが毎秒440mであったり  
とんでもない力を持っているのだとわかりました。

また、原子爆弾を投下する候補に横浜が入っていたの  
でびっくりしました。

また、アメリカ軍の上から様子を見ていた人が「すく  
おろしてくてるえが止まらなかつた」と言っていたのを  
聞いておどろきました。原爆を投下する本人も怖いのだ  
ろうなと思い、戦争はたれの幸せも生まない本当におど  
ろしくおこしてはならないものだと感じました。

原爆の話を聞いたときにすく怖いと感じるのに、実際に  
の場にいる人たちほど怖く感じているのか、想像が  
つかない。改めて原爆戦争を二度とおこしては  
ならないと感じた時間でした。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特<sup>じゆこ</sup>別授業を受講して

表

今日の話を通して、原爆のおそろしさを改めて感じた。私は今まで、学校でならう以外で原爆についてあまり知ろうとしたことがなかったのて、今日実際こうして講座を受けてみて、「ほんとうにこんなことが日本で起こったんだ」ということを肌で感じ、このことに関しても現実味が増した。当時の状況について、学校の授業で習わなかったくわしいこともたくさん知れて、とても勉強になった。特に、広島・長崎でのそれぞれの原爆投下時の、B29爆撃機の様子については、何も知らなかったのて真実を知れて良かった。この先この原爆の真実は亡くなった14万人の方や被爆した24万人の方のためにも、誰かが伝えていかなければならないと思う。

私も、このEGG講座の内容をしっかりと受けとめて、ずっと忘れずにいたい。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

毎年夏休みになると、テレビが「原爆」についてのものが多くなり、母に見させられても怖くてイヤだった。しかし、今日のお話を聞いて、もっと原爆は怖いものだと思った。地震や津波などの自然災害は避ければ助かることが多いが、原爆はどこにいてもすぐにのみこまれてしまう。当時はまだ、今とちがって木造の家が多かったりして、今の家でも衝撃波にはたえられないだろうけど、一瞬で何もなくなってしまおうと思った。また、爆心地の近くで外にいた人が一瞬で消えてしまうなんてとても恐しいと思った。私は、階段に座っていた人のあとが残っている写真を見て、そんなに消えてしまうのだなと怖くなった。こんなに怖い原爆は、日本だけで終わりにして、何も関係してこない住民などまでまき込むことが、今の時代もこれからもない世の中になってほしい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、広島<sup>の</sup>原爆<sup>について</sup>の特別授業を通して、戦争の怖さ、そして原爆による人々の無残な死に、悲惨だった悲しい光景をビデオ資料で詳しく確かめることが出来た。

また今回の語りの主人公だった義三も、裏では軍隊として過密な要請などに取り組んでいたのが、自分としても辛かった。原爆の威力も、放射能により起こる後遺症があるのは知っていたけど、他にも原爆が引き起こす影響も、衝撃波がすごいこともまだ知らなかったので学ぶことが出来た。

戦争について、風化が危険視されている中でも、原爆資料館によりいろいろ書かれているが、このところも、様々な光景を学べるので、いつかは見てみたいと思う。そして、平和のことが、これから世界にも広がっていけるように願う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことをまだ知らなかったことまで詳しく知れた。小学族である程度の原爆のことは学んでいたけれど、とても詳しくて原爆のことおがよく分かった。改めて、今は平和で良かったと思、た。特に印象に残ったことは、原爆投下の候補になった都市の中に小倉が入っていたことで、第二候補になっていったことに驚いた。小倉に投下しようとしたけれど、失敗したこと、長崎に投下するということになったのも驚いた。今回の話はとても勉強になって、これからも平和を糸売けていかなければいけないとも思、た。とても悲慘であってはならないことだとも思、たので、平和ということも考える上で大七刀になった。これからも、今回の学習を生かしていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆が落とされたときの地獄のような風景を  
 当事者の言葉で聴くと、本やテレビでは感じなかった  
 恐怖や悲しみを感ぜました。市人口の被爆率70%、  
 死亡率40%、14万人もの方々が1つの兵器  
 に殺されてしまう。そんなことが実際にあった、というのを実  
 感しました。やけどの熱線に焼かれ、皮がはがれても  
 苦しみながら生きている状態は想像を絶する苦しみ  
 だろう、すぐに死ぬとすらできず、苦しみながら生きるなど  
 はたらくとも想像できません。また、原爆投下目標  
 が小倉であったことにもぞとしました。祖父母はまさにそ  
 こに住んでいたのです。もし小倉の観測に成功していれば、  
 今私は存在しなかったかもしれないと思ったのです。  
 長崎に原爆を投下するときも、もし長崎が見えていな  
 ければ、海に廃棄されていたかもしれないと思った。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私が今回原爆先生の特別授業を受講して、一番感じたことは恐怖だった。私は以前原爆資料館へ行、たことが何度かあり、行く度に写真にあった人形や亡くなられた方々のかけらなどを見てとても怖いと思っていたが、最後の義三さんのビデオを見てあの資料館の人形が「キレイすぎる」とおっしゃられていたり、もっとひどいものだったと言われていたりしてもう想像がつかなくなっていました。それほど、原爆がひどかったと身にしみて感じた。

また、冒頭の方に原爆先生がマイクを使って原爆が落ちていく際の音を表現されていて自分はおれだけでも少しびっくりしたのだから、実際に原爆の音を耳にした方々は耳がこわれているのではないかと思った。それに加えて全身のやけどや追ってくる熱風など本当につらかったのかなど改めて感じた。そして、私は今まで原爆を落とすアメリカの計画や考えをあまりくわしく聞いたことがなかったの今回初めて聞いて、「アメリカの原子爆弾は町1つふきとばせると示したい」というアメリカの考えに対していかりをおぼえたが、日本のことを思って京都に爆弾を落とさなかったという気持ちは少し感謝するようになった。しかし原爆を落と

して多くの人の命をふみにじたことはとても許しかたと思った。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の象徴とされている事に感じている原爆ドームと時の流れ

、このようにしてできるのを知ることができた。この日は、小学校の時

とはちがい、蒸気や、空気の制張いたことを学んでおられる方が理由がしつ

りと理解ができた。また、原爆に関してのお話を聞くときに、多くの

場合、広島のことばかりだが、なぜアットマンが長崎に落とされ

たのか、また、原爆を落とすかというのは当時にしてとて軽く、

アメリカの判断で生き残る人と生き残らない人が分けられてしまうのは、

とてもつらいものだと思う。アメリカの軍人は一旦爆撃地を

京都としていたが、1200年の文化遺産があるからといて原爆を

まぬがれたというのはあまりに皮肉なと思った。また、爆破目標

地点が小さな橋にまで定まっていることに、戦争の情報は細か

いと感じるとともに少し怖いと思った。ふくしま人が言う「ヨレヨレ

ヨレヨレ」といふ言葉は、どこかそれがかつての具体的にかつてはなく「全てを

ヨレヨレ」といふ、現実と歴史のちがいをのべているように

切な感じがする。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

池田義三さんの体験や原爆か<sup>じゅこう</sup>どのようなもの  
なのかを聞いて、原爆や戦争のひさくさかより分か  
りました。絵や話は少し聞いたことはあったもの  
の今日のようなよりくわしい話や写真は見たことか  
なくて心に刺さりました。年か<sup>じゅこう</sup>たつにつれて戦争  
について伝えられる人か<sup>じゅこう</sup>減っていくと思うので  
一人一人か<sup>じゅこう</sup>知っておいてみんなか<sup>じゅこう</sup>知れる  
ような世の中にしていきたいと思ひました。  
今までは、原爆か<sup>じゅこう</sup>どうして恐しくてあんなに死んでし  
まったのかか<sup>じゅこう</sup>分かんがたけれど、熱線や衝撃  
波のこわさを知ることか<sup>じゅこう</sup>できたので、よくくわ  
しく調べて次の世代に伝えていきたいと思  
ひました。本当にありか<sup>じゅこう</sup>とるでか<sup>じゅこう</sup>し、まし  
た。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

特別授業で、広島や長崎の原爆やその時の様子など

いろいろなことで詳しく教えていただきありがとうございます。

今まで私は、テレビや新聞などでしか、戦争や原爆に

ふれる機会が無く、どんなことが起きたかなどを少しだけ

知っているだけでした。ただ、今回の授業で原爆がおとされた

時の爆心地の様子や、その威力がどれだけ強いのか、また、なぜ

原爆がおとされたのかなどがよくわかり、当時こんなことがあつて

いたのか、前よりも、知っていることが増えたと思います。

授業で、飛行機の名前の由来や、原爆にパラシュートをつ

けて落としたといわれていた理由、2つの原爆の名前など、

テレビなどの番組でまったく聞いたことのない言葉もきけて、

とても勉強になりました。

今回の授業を聞いて、今後、このようなことが2度とあつては

いけないと感じました。また、コロナがおさまたら、一度、

広島に行き、原爆ドームをみたりしてみたいと思いました。

今回は特別授業をして下さり本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

被災地の当時の状態や被爆者の話を  
 聞いて、話を聞く前より戦争への恐怖が  
 強くなった。現実と記録とで食い違う  
 ことがあることに驚き、二つのものをあ  
 らわすこととても難しいことだとい  
 うことが分かった。自分が死ぬまで  
 はこのような体験をするとはないと思  
 うが、武器をもって戦争は、人や家  
 屋など、たくさんのものでぎせいに  
 なるため、戦争はよくないものだ  
 といふことが今日、話を聞いて感じ  
 た。みんなが戦争の恐怖を知識として  
 今日のように知ることで、世界で  
 おきているたくさんのもを傷つける  
 ような争いごとが減るのでいいか、  
 と思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

急かしい中 講義をして下さりありがとうございました。  
 原爆のこねさを改めて感じる事ができました。自  
 分はあまり原爆について知らなくて色々と初めてま  
 いた情報が多く驚きが多かったです。また、悲惨な事実  
 多く知り戦争はしてはならないという事を強く思いま  
 した。このような事が知れたのも伝えられるぐらいの知  
 識を持っている人がいたからで、伝えられる人がい  
 なくなればなるほど風化してみんな忘れてしまいます。そのた  
 め、私は私たちのような人たちがせうに次の世代へと伝え  
 ていく必要があると思いました。これから私たちも伝えられ  
 る機会があったら色々な人へ伝えていこうと思いました。  
 原爆のことだけでなく二度と起こってはいけないことと  
 次の世代へ伝えていくということは大切なので、何か自  
 分でも伝える姿勢を大切にしていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今回の特別授業を受講して、とても  
衝撃を受けました。以前までは、8月6日と9日  
に広島と長崎に原爆が投下されたという事実  
しか知りませんでした。その裏側で米国が原爆  
を落とす距離を見据えたり、投下する場所を選んだり  
して計画を練っていたことを学んで、「本当に当  
時の米国は最悪なことをしたんだな」と実感しま  
した。太陽に近い温度の原爆が接近したとき  
のことを考えるたびに、いたたまれなくなりました。  
そして最後に池田義三さんのビデオを見た  
ときに改めて戦争の恐しさ、悲惨さを身に  
染みて感じました。僕は過去にこのような  
ことがあったということを絶対に忘れてはならないと  
思います。そして今を生きる人、未来を生きる人にも考え  
てほしいと思います。今や世界遺産になっている  
原爆ドームを後世に伝えて、当時のことを伝えて  
ほしいです。本当に貴重なお話しありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

100分以上の特別授業を受講していただき、  
 たゞは、原爆によるもたらされる被害や  
 影響が大きいことだと思います。以前テレビ  
 を見たときに、原爆特集をやっていた  
 ときを見たときは、「原爆これ〜」や  
 「現代に産まれてよかった〜」など素直なこと  
 しか思いつきませんでした。しかし、  
 この原爆先生の特別授業を受講して  
 テレビで見たときの「原爆これ〜」とい  
 うものではなく、原爆が落とされたと  
 いうのが、起こることから怖いという  
 考えが生まれました。そしてその原爆によって  
 原爆病にかかっている人も、それには  
 苦しんでいる人がいること知ったときは、  
 センクリしました。このことから、原爆に  
 ついてのことから、改めて思っています。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今まで、8月6日・9日に黙とうをしたりテレビ番組を見たりといったことは

、あった。しかし戦争・原爆を体験した人のことを直接聞いたのは初めてで、

言葉に表せないほど怖かった。

特に 池田義三さんが原爆後の広島町の町を通った時。一瞬で七くちてしまった方、

皮膚がたれ下がりて助けを求める方、人間のように見なかった方...、様々な被害を

受けた人たちがいたことを初めて知った。その中で助けを求める方を助けられない

という悲しさ、恐ろしさが伝わってきて、何も言えない気持ちになった。

「7000℃」という具体的な温度を聞いて、想像もつかなかった。

さらに原爆投下の候補は広島・長崎だけでなく小倉も有力だったこと、さらに

京都、新潟、そして横浜にも落とさなかったかもしれないという事実も怖かった。

一言で怖かった、といっても、その言葉が「H」では足りない気持ちで、本当に恐ろしいという

ことを改めて実感した。この講座を受け、詳しい事実を知ることができたと思う。

今後はこのようなことが絶対にない、戦争がない世界になってほしい。